

研究課題：日本における腎ラブドイド腫瘍の診療および予後の実態調査

1. 研究の目的

腎ラブドイド腫瘍は小児に多く発生する腎腫瘍ですが、かなり珍しい腫瘍でありきわめて悪性度が高く現在もなかなか治りません。また、全世界をみても腎ラブドイド腫瘍に対して「この治療で行うのが良い」と提唱される誰もが認める決まった治療はひとつもありません。そこで、私たちはこの腫瘍の治療成績の改善をめざした研究に取り組んでいます。

私たちの研究では、まず日本における腎ラブドイド腫瘍の患者さんの症状や検査所見、治療内容および治療中の経過を集め評価し比較することで、よりよい治療法を見出すことを目的としています。

2. 研究の方法

過去に腎ラブドイド腫瘍の診断をうけ、1996年以降に日本ウィルムス腫瘍スタディグループ研究（JWiTS）への参加に同意され登録された患者様、および2014年以降に日本小児がん研究グループ（JCCG）小児固形腫瘍観察研究への参加に同意され登録された患者様が対象です。

診療録から、症状や検査所見、治療内容および治療中の経過等の情報を調べてまとめます。

3. 研究期間

2023年7月（倫理委員会で承認を得られた日）から2024年3月まで。

4. 研究に用いる資料・情報の種類

診療録からの情報

発症年月齢、性別、本人の癌の既往歴、癌の家族歴、初診日、発症時の症状、血液尿検査所見、腫瘍のサイズとその部位、転移の有無および転移場所、手術・化学療法・放射線療法の具体的な内容など、腫瘍検体での染色体異常、病理所見、退院日、患者様が治療後どうされているか、治療による合併症などです。

5. 外部への資料・情報の提供、研究成果の公表

この研究で得られた結果は、医学雑誌などに公表されることがありますが、患者様の名前など個人情報は一切分からないようにしますので、プライバシーは守られます。また、この研究で得られたデータが本研究の目的以外に使用されることはありません。

6. 研究組織

研究機関：地方独立行政法人埼玉県立病院機構 埼玉県立小児医療センター

研究責任者：	血液・腫瘍科	科長	康 勝好
研究分担者：	血液・腫瘍科	副部長	荒川 ゆうき
	血液・腫瘍科	医長	大嶋 宏一
	血液・腫瘍科	医長	福岡 講平
	血液・腫瘍科	医長	森 麻希子
	血液・腫瘍科	医長	三谷 友一
	血液・腫瘍科	医長	上月 景弘
	血液・腫瘍科	医員	本田 護
	血液・腫瘍科	医員	稲嶺 樹
	血液・腫瘍科	医員	水島 喜隆
	血液・腫瘍科	医員	高田 啓志
	血液・腫瘍科	医員	加藤 優

7. お問い合わせ先・研究への参加を希望しない場合の連絡先

研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。また、資料・情報が当該研究に用いられることについて患者様もしくは患者様の代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、2023年12月31日までに下記の連絡先へお申出ください。その場合でも患者様に不利益が生じることはありません。

地方独立行政法人埼玉県立病院機構
埼玉県立小児医療センター
医事担当（代表 048-601-2200）